

# HESS 「明日の水素を語る会」の報告

HESS 事務局

## 1. はじめに

昨年から地球温暖化防止対策として水素導入に対する期待が各国で急速に高まっている。そのような世界の動きの中で、今後水素社会へ移行するためにどのような対応が必要かを検討し、それを受けて HESS が果たすべき役割および HESS の発展を図るための方策を議論して今後の HESS の運営指針を策定する目的で理事・監事の一泊研修会、「明日の水素を語る会」を実施した。その概要を以下に報告する。

## 2. 日時、場所

平成 20 年 8 月 22 日（金）、23 日（土） 2 日間。 富士電機伊豆高原保養所「ソレイユ伊豆」

## 3. 出席者（HESS 理事・監事）

岡崎健会長、松村幾敏副会長、堂免一成副会長、光島重徳事務局長

理事・監事：太田健一郎、岡野一清、神谷祥二、坂田興、佐々木一成、白根義和、谷生重晴、西宮伸幸、橋本辰彦、広瀬正典、本田国昭、丸山晋一、安田勇、渡辺正五（五十音順）

## 4. 討論のテーマ

下記の課題 1 と課題 2 について A,B,C の 3 グループに分かれてグループ討論を行った。

課題 1 水素社会へ移行するための課題とその対応

- ① 技術開発と水素の市場導入について必要なこと
- ② 国の政策や研究開発プロジェクトについて

課題 2 HESS が果たすべき役割と、発展するために実行すべきこと

- ① HESS が果たすべき役割
- ② HESS の発展のために実行すべきこと

## 5. 討論結果のまとめ

課題 1：水素社会へ移行するための課題とその対応

- ① 技術開発と市場導入について必要なこと
  - ・ 全体の技術開発シナリオ
  - ・ 経済性、環境性等の全体システム評価技術、投資のための評価データ
  - ・ 水素の製造・輸送/配送・貯蔵・利用技術の確立（時間軸を考慮した開発・適用）
  - ・ 要素技術やシステム技術の開発と連携の取れた実証試験の実施
  - ・ 水素導入や再生可能エネルギー利用水素の実証を行うモデルタウン等の実証事業
  - ・ 短期では FCV の導入と水素インフラ整備を円滑に行うための諸施策
  - ・ 大量導入が必要な水素の量的認識（量的認識により対応策が大きく変わる）
  - ・ 持続可能な水素源確保と技術開発：石炭ガス化/CCS（短期～長期）と再生可能エネルギー利用による CO<sub>2</sub> フリーの水素の大量導入
  - ・ 水素社会の便益や水素導入意義のアピール、水素社会の一端を体験させる施策

## ② 国の政策や研究開発プロジェクトに対して

- ・ 国家の中長期水素エネルギー戦略の策定（技術開発、水素産業の成立策、海外を含めた大量の水素源確保、発電等の大量利用策）
- ・ 国家の超長期エネルギー戦略の中に水素エネルギーを位置づけること
- ・ FCV と水素インフラ導入支援。水素インフラは公共投資の一環として整備
- ・ 地球温暖化対策として GDP の 1%（5 兆円/年）の投資（官・産・民で 3 分割）
- ・ 短期から超長期の技術開発と水素導入シナリオ作成
- ・ 研究開発要素に固執しないコスト低減など実用技術育成のための改良開発の推進
- ・ 国家プロジェクトで開発した技術成果の共有利用
- ・ 脱石油資源に成功している国の政策の学習
- ・ 企業が自力で、かつ本気で取り組むまでの環境作り
- ・ メディアコントロール
- ・ 社会の受容性の醸成対策推進（一般市民に対する水素導入の意義、エネルギーや 地球環境問題の理解）

## 課題 2 : HESS が果たすべき役割と、発展するために実行すべきこと

## ① HESS の果たすべき役割について :

- ・ 名実ともに日本の水素エネルギーを代表する協会にする
- ・ 学会機能と産業技術発信機能を有し産・官・学の橋渡しをする
- ・ 社会貢献（論文公開システム、教育、標準化、安全、社会の受容性醸成）をする
- ・ 水素社会構築のために技術開発や導入に関する政策提言を行う

## ② HESS が実行すべきこと :

- ・ 組織的で効率的な運営体制の構築と企画・実行体制の強化（事務局集中を避ける）
- ・ 会員サービスの向上を図る（HP、PR 活動、行事内容の充実）
- ・ 設立当初からの HESS の定款を現状に合わせて見直しする（水素の研究だけの時代から産業として期待される時代が変わってきたことによる）
- ・ 水素が大きい産業になるポテンシャルを有することを発信し業界の支援を得る
- ・ 体制強化のために専用事務所や専任者を必要とするが、財政基盤の強化が必要である。また法人格の取得についても将来の課題とする
- ・ 海外の水素協会との連携強化（情報の共有、相互支援）
- ・ 活動内容において他の学会や団体と異なる特長を出す

## 6. 今後の行動計画について

討論で得られた結果から、HESS の効率的運営と体制強化を図るため、まず担当理事制など具体的方策を検討することから始めることを全員一致で確認した。HESS の役割や実行すべきことの討論で出された個別の項目については、その体制の中で順次実施に移すこととした。

以上